



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社エー・ピーカンパニー 上場取引所 東
 コード番号 3175 URL http://www.apcompany.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中井 努 (TEL) 03(6435)8440
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,452	30.5	290	44.1	333	34.9	205	71.6
26年3月期第1四半期	3,410	35.0	201	15.1	247	27.7	119	△3.5

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 202百万円 (69.1%) 26年3月期第1四半期119百万円 (△3.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	27.66	—
26年3月期第1四半期	16.12	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	9,660	2,749	28.2
26年3月期	9,695	2,519	25.9

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 2,721百万円 26年3月期 2,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,200	28.4	470	35.6	540	25.1	310	38.3	41.74
通 期	20,300	28.5	1,323	29.0	1,445	16.2	855	26.6	115.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	7,427,850株	26年3月期	7,427,850株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	185株	26年3月期	185株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	7,427,665株	26年3月期1Q	7,427,712株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記	8
(継続企業の前提に関する注記事項)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、政府の景気対策等の効果が下支えする中、緩やかな景気回復の動きが見られたものの、個人消費におきましては平成26年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその反動がありました。

国内の外食産業においては、消費税増税に伴う景気への大きな影響は現状では見られません。継続してデフレによる低価格競争がある一方で、高価格商品の販売状況が改善されるなどの消費マインドの改善は継続している状況です。

このような環境の中、当社グループにおきましては消費税増税に伴う消費環境の変化が見込まれることに対応し、付加価値の高い商品の開発や販売におけるサービスの更なる強化に取り組んでまいりました。また、「日本の食のあるべき姿を追求する」というグループ共通のミッションのもと、優秀な人材の確保及び教育、生産地の開拓及び生産者との継続的な深い関わりによる商品力の強化、日本全国の大都市圏を中心とした新規出店を継続的に行ってまいりました。

以上の結果、当社の連結業績は順調に推移しており、第1四半期連結累計期間における売上高は4,452百万円（前年同期比30.5%増）、営業利益は290百万円（前年同期比44.1%増）、経常利益は333百万円（前年同期比34.9%増）、四半期純利益は205百万円（前年同期比71.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①生産流通事業

生産流通事業では、「生販直結モデル」の一部として、地鶏、鮮魚、青果物などの生産及び流通事業を行っております。

「塚田農場」ブランド店舗の店舗数増加により、地鶏の生産量の増加及び取扱い青果物の増加傾向が続いており、生産流通事業の売上高及び利益が順調に推移する要因となっております。このうち特に鹿児島県の地鶏の生産量の増加に対応するため、子会社の㈱カゴシマバンズに対してエー・ピー6次産業化ファンドから平成26年4月に出資を行い、鹿児島県産品の生産加工場の建設を開始しました。

また鮮魚については、青森県深浦町にある㈱あおもり海山に出資を行ったことにより平成26年5月頃より本マグロの取扱いが始まりました。徐々に取扱量を増加させて、鮮魚事業の強化に取り組んでいく方針です。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は710百万円、セグメント利益は55百万円となりました。

②販売事業

販売事業では、「生販直結モデル」の一部として、外食店舗及び中食店舗を運営しております。

当第1四半期連結累計期間の「塚田農場」ブランドの店舗を中心に既存店舗の売上が、前年同期比96.6%となりました。前年度の既存店売上高がテレビ放映効果で一時的な上ブレがあったことを考慮すると、順調な推移となっております。

また当四半期連結累計期間において「塚田農場」ブランド店舗を6店舗出店致しました。店舗数は継続して増加しており、当期末時点で直営店舗数は137店舗となりました。新規出店は首都圏中心に行いましたが、第2四半期には広島や仙台への初出店を予定しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,194百万円、セグメント利益は

238百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は9,660百万円(前連結会計年度比34百万円の減少)となりました。これは主に現金及び預金の減少によるもので、法人税等の支払によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,749百万円(前連結会計年度比229百万円の増加)となりました。これは主に四半期純利益205百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は28.2%(前連結会計年度比2.2ポイント増)となりました。これは主に四半期純利益205百万円より自己資本が増加したことと、借入による資金調達を抑制したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年5月13日に公表しました平成27年3月期の連結業績予想につきましては、経営環境に大きな変化はなく順調に推移しており変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,827,806	3,631,282
売掛金	501,911	481,664
たな卸資産	434,062	476,214
繰延税金資産	133,977	134,682
その他	201,528	200,897
貸倒引当金	△4,609	△4,659
流動資産合計	5,094,677	4,920,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,201,669	3,360,295
減価償却累計額及び減損損失累計額	△894,958	△973,569
建物及び構築物(純額)	2,306,711	2,386,726
工具、器具及び備品	1,317,838	1,374,073
減価償却累計額及び減損損失累計額	△655,106	△711,339
工具、器具及び備品(純額)	662,732	662,733
リース資産	70,000	70,000
減価償却累計額及び減損損失累計額	△66,530	△67,563
リース資産(純額)	3,470	2,437
その他	306,740	341,767
減価償却累計額及び減損損失累計額	△116,976	△124,067
その他(純額)	189,764	217,700
有形固定資産合計	3,162,677	3,269,597
無形固定資産		
のれん	5,910	5,664
ソフトウェア	9,373	8,939
その他	1,625	1,596
無形固定資産合計	16,909	16,200
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
敷金及び保証金	1,180,265	1,218,172
長期貸付金	12,380	12,380
長期前払費用	114,744	110,055
繰延税金資産	61,628	61,628
その他	35,182	35,602
貸倒引当金	△3,399	△3,279
投資その他の資産合計	1,420,800	1,454,558
固定資産合計	4,600,388	4,740,356
資産合計	9,695,065	9,660,439

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	646,430	637,949
1年内償還予定の社債	257,000	257,000
1年内返済予定の長期借入金	1,012,803	1,038,709
リース債務	2,967	2,289
未払金	182,363	126,176
未払費用	696,240	674,131
未払法人税等	393,870	142,480
その他	318,732	360,993
流動負債合計	3,510,408	3,239,729
固定負債		
社債	541,500	511,500
長期借入金	2,891,392	2,919,916
リース債務	684	279
繰延税金負債	12,050	12,050
その他	219,138	227,820
固定負債合計	3,664,765	3,671,567
負債合計	7,175,174	6,911,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,517	495,517
資本剰余金	475,517	475,517
利益剰余金	1,546,086	1,751,559
自己株式	△287	△287
株主資本合計	2,516,833	2,722,307
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,033	△1,022
その他の包括利益累計額合計	△1,033	△1,022
新株予約権	2,806	2,806
少数株主持分	1,284	25,051
純資産合計	2,519,890	2,749,141
負債純資産合計	9,695,065	9,660,439

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,410,905	4,452,921
売上原価	1,074,159	1,352,927
売上総利益	2,336,745	3,099,994
販売費及び一般管理費	2,135,004	2,809,283
営業利益	201,741	290,710
営業外収益		
受取利息及び配当金	17	71
協賛金収入	41,048	52,871
受取補償金	21,207	—
その他	3,020	9,215
営業外収益合計	65,294	62,159
営業外費用		
支払利息	15,066	15,342
その他	4,344	3,561
営業外費用合計	19,411	18,903
経常利益	247,624	333,965
税金等調整前四半期純利益	247,624	333,965
法人税、住民税及び事業税	106,025	131,875
過年度法人税等	※ 130,981	—
法人税等調整額	△109,131	△705
法人税等合計	127,875	131,170
少数株主損益調整前四半期純利益	119,748	202,795
少数株主損失(△)	—	△2,677
四半期純利益	119,748	205,473

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	119,748	202,795
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	167	10
その他の包括利益合計	167	10
四半期包括利益	119,916	202,805
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,916	205,483
少数株主に係る四半期包括利益	—	△2,677

(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記事項)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

※ 過年度法人税等

当社は、麻布税務署より平成20年3月期から平成24年3月期までの課税年度の法人税等について税務調査を受け、主に飲料メーカーからの協賛金収入についての指摘に伴い更正決定通知を受けた結果、過年度法人税等130,981千円を計上いたしました。

なお、税務当局からの指摘につきましては、見解の相違に起因するものでありますが、当局からの指摘を受け入れ平成25年3月期についても指摘を反映した修正申告を行う予定です。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結財務 諸表計上額 (注)2
	生産流通事業	販売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	245,638	3,165,267	3,410,905	—	3,410,905
セグメント間の内部 売上高又は振替高	325,105	5,100	330,205	△330,205	—
計	570,743	3,170,367	3,741,110	△330,205	3,410,905
セグメント利益	48,671	159,800	208,471	△6,730	201,741

(注)1 セグメント利益の調整額は、連結上ののれんの償却額△246千円及びたな卸資産の調整額△6,483千円です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結財務 諸表計上額 (注)2
	生産流通事業	販売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	263,852	4,189,069	4,452,921	—	4,452,921
セグメント間の内部 売上高又は振替高	446,567	5,100	451,667	△451,667	—
計	710,419	4,194,169	4,904,588	△451,667	4,452,921
セグメント利益	55,810	238,466	294,277	△3,566	290,710

(注)1 セグメント利益の調整額は、連結上ののれんの償却額△246千円及びたな卸資産の調整額△3,320千円です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。